

第3次南アルプス市総合計画の将来像について

1. 基本的な考え方

本計画の将来像は、「南アルプス市民憲章」を基本理念に、各政策分野を包括するものとして位置づけられる。これまで市民アンケートや市民会議、審議会などにおいて多くの意見やキーワードを頂いており、その全てを将来像に盛り込むことは難しいが、頂いた意見やキーワードから共通する価値観や目標が見えてくる。これらを中心に据え、市民全体が共感できる将来像を検討した。

また、第3回審議会では、次世代を担うこどもや若者が将来に夢や希望が感じられる表現とすることが重要であるとの意見を頂いている。

これらのから、本計画の将来像を検討する上で、以下の点を前提条件とする。

- ・ 市民からの将来像に対するキーワードを反映しつつ、政策全体を包括する表現であること
- ・ 次世代を担うこどもや若者にとって分かりやすく、将来への夢や希望が感じられる表現であること
- ・ 将来像としての位置づけを明確にするために、市民憲章や政策名称との重複を極力避けること

《現時点案》

人がつどい 次世代につなぐ 活力あふれるまち 南アルプス

～自然と暮らしが調和した幸せ共感都市～

《説明》

【人がつどい】

市内において地域のコミュニティやイベントで人々が交流し活気に満ちた光景が広がっており、「助け合い」「つながり」「一人じゃない」などのキーワードを連想させる。

また、本市のこの10年は、中部横断自動車道やリニア中央新幹線の整備などにより、大きな変化のタイミングであり、多くの人々が市内に訪れてもらえる好機である。また、交通網の整備による企業参入、市内の雇用増加が期待できる。

【次世代につなぐ】

「つなぐ」「つながり」は市民会議から多く出されているキーワードである。また、本市が力を入れている「子育て応援」、これまでの地域の文化や自然、基幹産業である農の継承を含めて意味するものである。

【活力あふれるまち】

「フモット南アルプス」の整備により生み出された賑わいを既存の農業・商業の活性化に繋げるなど、市内全体に波及させることが本市にとって重要である。また、前述の企業誘致や子育て応援の充実により人口の社会増を目指し、活力ある地域を目指すものである。

【自然】

市民からのアンケート結果より、本市の最も大きな魅力として市民が共感するキーワードであり、「市民憲章」、「南アルプスユネスコエコパーク」の理念とも深く繋がるキーワードである。

【暮らし】

若者（高校生）アンケートによる10年後の南アルプス市を表すキーワードとして「暮らしやすい」「過ごしやすい」「住みやすい」が頻出しており、暮らしの利便性を求める意見が多い。

【自然と暮らしが調和した】

本市の最大の魅力はユネスコエコパークの核心地域に指定されている守るべき豊かな自然と、人々の暮らしが近いことである。自然との調和を図りながら更なる「(安全安心を踏まえた)暮らしやすさ」を求めていく姿を示す。

【幸せ共感都市】

今回の総合計画における最大の目標は「市民の幸福度」を高めていくことであり、その点を踏まえつつ、誰もがその幸福を共に感じられることを示すものとする。

2. 参考

(1) 南アルプス市民憲章

緑かがやく自然を守り
なかよく美しい心を結び合い
未来にひらく豊かなまちをつくることを
アルプスの山々に誓います

(2) 第2次南アルプス市総合計画の将来像

自然と文化が調和した幸せ創造都市 南アルプス
～魅力ある地域資源を活かした 自立のまち～

(3) 第3次総合計画の政策素案

政策1：「多様なみんながつながる、安全・安心のまち」の実現
政策2：「ともに支え合い、生涯健康で幸せなまち」の実現
政策3：「こどもまんなか、夢や希望が描けるまち」の実現
政策4：「豊かな地域資源で、魅力・活力あふれるまち」の実現
政策5：「ユネスコエコパークとともに、快適で住みよいまち」の実現
政策6：「地域で学び、地域に活かすまち」の実現
政策7：「次世代へつなぐ、持続可能な自治体経営」の実現